



新年度が始まり、新しい環境になり期待と不安が入り混じった日々かもしれません。そんな時の休みの気晴らし探検第2弾で吉野の西郷さんゆかりの記念碑を紹介합니다。天神山にある駄馬落（だばらく）の碑です。バスの停留所の名前にもなっています。寺山の開墾地に通っていた西郷さんが荷を背負わせた馬（駄馬）を引いていたところ、その馬が落差のある畑に落ちてしまった事に由来します。碑には「積み荷は唐芋 引き手は西郷南洲翁」と刻まれています。昭和14年4月10日に建立されています。あの西郷さんでも馬の扱いが苦手だったようです。



ひよこ先生からのお便り



抗生物質について正しい知識を持ちましょう

アメリカ小児科学会の一般向けパンフレットには「無用な抗生物質は有害です」と書かれています。ほとんどの感染症は細菌とウイルスによって起こります。細菌感染症に対しては抗生物質は有効ですが、ウイルス感染症には全く効き目はありません。では、小児の発熱の原因はどちらが多いと思いますか？その90%以上がウイルス感染症が原因です。つまり抗生物質がほとんど必要ないという事になります。ウイルス感染症に対して抗生剤を使用することがなぜ有害なのでしょう。それは抗生剤物質を不適切に繰り返し服用することにより抗生物質が効かない耐性菌が増えてくるからです。また耐性菌の感染は、家族や周囲の子ども達に広がることもあります。耐性菌による感染症には、より強力な抗生物質を入院して点滴治療する必要も出てきます。それでも治療できない耐性菌もあります。

では抗生剤が必要なのか具体的に説明しましょう。

＜鼻水に色がついている＞ 黄色や緑の鼻水が細菌感染症を示すわけではありません。鼻水の色が変化することはカゼの経過の中ではよくあることです。

＜のどが痛い＞ ほとんどはウイルスによる症状です。ただ溶連菌感染によるのどの痛みは、抗生物質が必要です。迅速検査により診断できます。

＜中耳炎＞ 軽症では抗生物質を使用せずに経過をみることもあります。

＜咳や気管支炎＞気管支炎の原因はほとんどがウイルスです。特に乳幼児ではRSウイルスによる細気管支炎が有名です。

＜髄膜炎＞ 髄膜炎にも無菌性（ウイルス性）髄膜炎と細菌性髄膜炎があります。最近Hib,肺炎球菌ワクチンの定期化により細菌性髄膜炎はほとんど見られません。

しかし、細菌性かウイルス性か判断する事が難しい場合もあります。高熱で乳児が受診した場合、尿路感染症（細菌感染）が隠れていることがあります。診察では特に異常所見はみられませんが、血液検査を行うと炎症所見（白血球数、CRPの上昇）があり、尿検査を行う事により診断されます。

小児科医は発熱の原因を問診（症状の経過）、診察、検査にて探っていきます。抗生物質が必要でない場合は、細菌感染の予防や念の為の処方しません。耐性菌を出現させないよう注意を払っています。

もし抗生物質が処方されていない事に不安を持たれた場合は、気軽に質問してください。





食パンの耳でポッキー作り



by もとこ



最近ニュースを見ていると食品の値上げ、家計に響きますね。〇〇パン屋でパンの耳25枚入って税込みで137円。この激安食パンの耳でおやつ作りを是非、子どもさんと一緒に作ってみませんか？

材料 食パンの耳4枚

板チョコ2枚(ミルクとホワイト)

1:パンの耳、八等分に切る

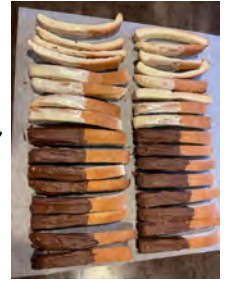
2:オーブン皿にクッキングシートを敷いて食パンの耳を並べてオーブンに入れて110度で30分焼く

3:焼き上がった食パンの耳を常温に置く

4:板チョコを細かく割りボールの中に入れる

湯せんしながらチョコを溶かす

5:湯せんしたチョコレートの中に食パンの耳を半分つけてクッキングシートに置き固まってきたら出来上がり。



えほんの紹介



by まゆみ



今回、ご紹介するえほんは、『バムとケロのそらのたび』です。おおらかで心優しい犬のバムと、やりたい放題がかわいいカエルのケロの、マイペースでユーモラスなお話です。

ある日、パンケーキを食べていたら、おじいちゃんから山のような小包が届きます。「誕生日にあそびにおいで」という手紙とともに入っていた組立式飛行機を作るところから冒険が始まります。

全ページこっそり描かれている、スヌーピーのような「ヤメピ」を見つけるのも楽しいですよ。いくつもシリーズ化しているので、お気に入りを見つけてみてください！



作・絵 島田ゆか



12年間の思い出

by さとこ



私事ではございますが、この度主人の仕事の都合で埼玉へ引っ越すことになりました。こちらに勤めて、そして吉野に越してきて早12年。長いようであっという間の12年でした。毎日が充実していて思い返せば『楽しかった』この一言に尽きます。先生や奥様 スタッフの方々には大変お世話になり感謝してもしきれません。

コロナ前は学会には毎年参加し福岡 香川 三重 東京 大阪 などいろいろな場所へ連れて行って下さいました。勉強と遊び沢山刺激になりました。



赤ちゃんの頃から来ていた子が、大きくなって受診した時には大きくなったなあ〜と親戚のおばさんのような眼差しで眺めていたものです。

この仕事を辞める事 鹿児島を離れる事 こんなに寂しい事はないけど、いつかは来る道です。

前向きに 明るく 楽しく人生楽しみたいですね♪

